

第2期教育の振興に関する施策の大綱

～ふるさとさばえに自信と誇りの持てる教育～

令和4年3月

鯖江市

教育の振興に関する施策の大綱改定にあたって

本市において最初の「教育の振興に関する施策の大綱」（以下「教育大綱」という。）が定められた平成27年から、すでに7年が経過しており、本格的な人口減少時代の到来やコミュニティの希薄化による地域課題は、今後ますます顕在化するものと考えられます。

また、自然災害の大規模化や市民ニーズの多様化・複雑化、ICTの普及など、市民生活や教育を取り巻く環境は大きく変化しており、新たな時代に対応しながら、これからも市民一人一人が幸せな生活を送るためには、住民自らが地域運営の担い手として主体的に関わることが重要です。

これらを踏まえ、今般の改定にあたっては、これまでの教育大綱の基本理念を継承しつつ、第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進にかかる先導的・横断的な2つの方針である「育てやすい暮らしやすいまちづくり」「みんな輝く市民活躍のまちづくり」や、各種団体等の意見を集約する中で導き出されたキーワードとして「多様性（ダイバーシティ）」「強靱性（レジリエンス）」「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」を新たな観点として、現行の大綱を見直すこととしました。

本市ではこれまでも、子どもたちが生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む教育に積極的に取り組み、自分の夢の実現に向かってしっかり努力し、ふるさとさばえの発展を志向できる子どもの育成に注力してきました。今後も、子どもたちの「生きる力」を育む学校教育を推進するとともに、幅広い分野で多くの市民の皆様に子どもたちの「学び」と「育ち」を支えていただいていることから「地域とともにある学校」に努めてまいります。

また、本市の宝である「市民力」をさらに高めていただくため、市民の皆様「学びの機会を広げる」「教育の質を高める」といった観点から、社会教育の推進が今まで以上に重要になります。現在も社会教育・地域コミュニティの中核施設としての役割を果たしている公民館においては、人づくりにとどまらず、つながりづくりを進め、環境、地域福祉、防災など、住民の自助・共助による持続可能な地域づくりを目指します。

今後、新しい教育大綱の下で、学校教育と社会教育の2本柱を核に、人生100年時代を見据え、子どもから大人まで「ふるさとさばえに自信と誇りの持てる教育」を推進し、教育による持続可能な「笑顔があふれるめがねのまちさばえ」の実現を目指します。

1 鯖江市の教育の基本理念

ふるさとさばえに自信と誇りの持てる教育

本市は、第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本コンセプト『世界のめがねの聖地SABA Eの確立』を踏まえ、本市が育んできた豊かな自然や歴史・伝統・文化、先人の残した豊富な資産や宝を活かし、子どもから大人まで「ふるさとさばえに自信と誇りの持てる教育」を推進します。

2 大綱の期間

この大綱が対象とする期間は、令和4年度から令和8年度までの5か年とします。

3 施策の基本目標

施策展開に向けた8つの基本目標	
1	ふるさとを学ぶ
2	生きる力を身につける
3	子育てと学校と地域を切れ目なくつなぐ
4	家庭や地域の教育力を高める
5	文化遺産を活かすとともに新たな文化を創造する
6	いつでも・どこでも・だれでも・たのしく学ぶ
7	いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも気軽にスポーツを楽しむ
8	人生100年の学びを支える

【教育行政におけるSDGsの推進について】

鯖江市は、国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）を推進しています。

この大綱を推進するにあたり、教育行政においてもSDGsを意識した施策を展開し、持続可能なまちづくりを目指します。

1 ふるさとを学ぶ

- (1) 先人から受け継いだ郷土の歴史、伝統、文化、産業、自然、環境等について、体験活動を推進し、子どもたちが自ら進んで学ぶふるさと学習や地域の人々とのふれあいを通して、ふるさとへの愛着と誇りを養うとともに、地域の課題と向き合い、地域文化を受け継ぎ、発展させる重要な一員であるという自覚を育みます。
- (2) 社会的・職業的な自立に向けてキャリア教育の推進を図るとともに、ものづくり体験、職場体験等を通して、地域産業の優れた技術や最先端技術による新分野への進出を体感することで将来性を理解し、ふるさとさばえで働く意識を高める教育を進めます。

2 生きる力を身につける

- (1) 豊かな人間性の育成をめざして、道徳教育の充実、人権意識の醸成に努めます。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組み、自ら考える力を育むとともに、学力の向上を図ります。
- (3) 情報活用能力の育成を図るための環境を整えるとともに、ICTを活用した学習活動の充実を通して、教育の情報化を進めます。また、グローバルな人材（地元の発展に貢献できる人材や国際社会で活躍できる人材）育成に取り組めます。
- (4) 食育を通して、健康な心身の育成や伝統的な食文化の継承を図るとともに、食の恵みに対する感謝の心や「食と環境」「地産地消」など社会的課題に向き合う心を育てます。
- (5) 児童生徒に読書の楽しさや知ることの喜びを学習させ、豊かな感受性や人間性を育てます。
- (6) 生活の基礎となる体力・気力の充実を図るため、運動好き、体育好きの子どもたちの育成と生涯スポーツへの意識高揚を図ります。

- (7) 奉仕体験や地域活動への参加等を通して、子どもたちが進んで地域に貢献しようとする心やボランティア精神の醸成を図り、市民活躍のまちづくりの担い手を育てます。
- (8) 自らの命を守る防災教育を推進し、危険を予測し、回避する能力を高めるとともに、通学路の危険箇所の点検・対策の実施等、子どもたち周辺の安全対策を図ります。
- (9) 子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、自己肯定感の向上や友達同士で支え合える人間関係づくりを進めるとともに、家庭や地域、関係機関等と連携しつつ、いじめ防止や不登校対策などの生徒指導上の課題に組織的に取り組みます。
- (10) 共生社会の実現に向けた特別支援教育を推進するとともに、障がいの有無や様々な家庭環境に関わらず、すべての子どもたちの学びを社会全体で支える環境づくりに努めます。
- (11) 2030年の地球を担う今の子どもたちに国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）を理解する学習を取り入れ、身近なところから考え、自分事として行動するきっかけづくりを進めます。

3 子育てと学校と地域を切れ目なくつなぐ

- (1) 幼児教育・保育に対する多様なニーズに応えるため、地域の実情を考慮しながら、保育所と幼稚園の機能をあわせもつ認定こども園への移行に取り組みます。
- (2) 地域の幼児が気軽に遊びにくることができる地域に開かれた保育所（園）・幼稚園・認定こども園づくりの取り組みを進めます。
- (3) すべての子どもたちが健やかに育ち、元気で就学していくために、家庭や地域との連携による取り組みや、小学校との学びのつながりを進め、幼児教育の環境整備に努めます。

4 家庭や地域の教育力を高める

- (1) 家族の絆を深める取組みなどの家庭教育への支援を通して、家庭や地域の教育力向上、子どもたちの活動の活性化と健全育成を目指します。
- (2) 将来の鯖江、地域を支える子どもたちの社会力を高めるため、地域活動等に参加する機会の確保に努めます。
- (3) 地域の青少年健全育成体制を充実し、地域ぐるみで青少年を守り育てる環境をつくるとともに、青少年補導体制を充実し、関係機関と連携して非行や問題行動の予防、早期発見、早期対応に努めます。
- (4) 若者の活動を支援するため、同世代とのふれあいや地域社会との接点の場をつくり、連帯感の創出や社会参加を促します。
- (5) 社会教育・地域コミュニティの中核施設としての役割を果たしている公民館を、人づくりにとどまらず、環境、地域福祉、防災など、住民の自助・共助による持続可能な地域づくりを目指す場として充実に努めます。

5 文化遺産を活かすとともに新たな文化を創造する

- (1) 伝統産業や食文化等も含めて、地域に根ざした文化遺産を保存・継承するとともに、その魅力に気づかれないままに埋もれている地域の文化遺産を掘り起こし、市民共有の宝として磨きをかけ、発信します。
- (2) 地域において長く守り伝えられてきた有形、無形の文化財を、ふるさと学習や観光資源として活用します。
- (3) 子どもから高齢者まで、すべての人が気軽に文化・芸術を鑑賞し、参加、創造することができるよう環境整備を進めます。
- (4) 一人一人が文化の担い手として主体的に活動できるよう人材育成を進め、個性豊かな新しい文化の共創に努めます。

6 いつでも・どこでも・だれでも・たのしく学ぶ

- (1) 市民一人一人の学習意欲の高まりやニーズに応え、多様な学習メニューを提供するとともに、ICTの活用等による開かれた学習機会の提供に努めます。
- (2) 市民や各種団体等との協働により、市民が歴史遺産に触れる機会や教養を身に付ける場を提供し、市民活躍による賑わいのあるまちづくりを目指します。
- (3) 高齢者が自ら学び地域社会活動への参画を図るため、全国に誇れる高年大学の充実など、生涯学習環境の整備に努めます。
- (4) 地域人材の発掘・育成等の人づくりに努めるとともに、学びの成果が地域づくりにつながるよう、生涯学習体制の整備・拡充に努めます。
- (5) 価値多様化や情報化が進展する社会に対応した知の集積・発信拠点として、図書館（文化の館）等の機能の充実を図ります。

7 いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも気軽にスポーツを楽しむ

- (1) 生涯スポーツの発展を図るため、総合型スポーツクラブとの連携など、青少年期から幅広いスポーツ種目に取り組める機会の確保に努めます。
- (2) 性別、年齢、障がいの有無に関わらず、誰もがいつまでも気軽にさまざまなスポーツに親しむことができる環境の整備に努めます。
- (3) 幅広いスポーツ種目を指導できる人材の確保、育成に努めます。

8 人生100年の学びを支える

- (1) 教育施設の適切な維持管理や長寿命化改修などを行い、安全で安心して学べる環境整備を行います。

- (2) 人生100年の学びを支える教職員や社会教育現場で働く人たちが、やりがいを持って働ける環境を整備します。
- (3) 市民・各種団体・企業など様々な関係者との連携・協働により、持続可能な学校教育ならびに社会教育の実現を目指します。